



2002年アーノルド・フルクテンbaum博士セミナー

『聖書の八つの契約』

講師：アーノルド・フルクテンbaum博士
By Dr. Arnold G. Fruchtenbaum

通訳：中川 健一

2002年4月
アーネスト・ターナー・ミニストリーズ

(無断複製を禁じます)

目 次

| | |
|--------------------|-------|
| <u>はじめに</u> | P. 1 |
| I. <u>エデン契約</u> | P. 3 |
| II. <u>アダム契約</u> | P. 5 |
| III. <u>ノア契約</u> | P. 7 |
| IV. <u>アブラハム契約</u> | P. 9 |
| V. <u>モーセ契約</u> | P. 14 |
| VI. <u>パレスチナ契約</u> | P. 16 |
| VII. <u>ダビデ契約</u> | P. 18 |
| VIII. <u>新しい契約</u> | P. 20 |
| <u>結論</u> | P. 23 |
| <u>追加テキスト</u> | 1~5 |

聖書の八つの契約(アウトライン)

はじめに

- * ディスペンセーション(「経綸」と訳される。「時代区分」のことである。)
- * ディスペンセショナリズム(「経綸主義」と訳される。)

- * 「あなたは熟練した者、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。」(Ⅱテモテ 2: 15)

A. 契約のタイプ

- * 二つのタイプがある。

1. 条件付き契約

- * 「もしあなたが～するなら」という形式

2. 無条件契約

- * 「わたしは～するという」という形式

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

B. イスラエルとの契約

* ローマ9:4

彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法を与えられることも、礼拝も、約束も彼らのものです。

* エペソ2:11~12

ですから、思い出してください。あなたがたは、以前は肉において異邦人でした。すなわち、肉において人の手による、いわゆる割礼を持つ人々からは、無割礼の人々と呼ばれる者であって、そのころのあなたがたは、キリストから離れ、イスラエルの国から除外され、約束の契約については他国人であり、この世にあって望みもなく、神もない人たちでした。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルケンバウム師

1. エデン契約

* 創世記11:28

神はまた、彼らを祝福し、このように神は彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。」ついで神は仰せられた。「見よ。わたしは、全地の上にあって、種を持つすべての草と、種を持って実を結ぶすべての木をあなたがたに与えた。それがあなたがたの食物となる。また、地のすべての獣、空のすべての鳥、地をはうすべてのもので、いのちの息のあるもののために、食物として、すべての緑の草を与える。」すると、そのようになつた。

* 創世記2:15~17

神である主は、人を取り、エデンの園に置き、そこを耕させ、またそこを守らせた。神である主は、人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善惡の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

A. エデン契約に与る者

B. エデン契約の条項

(1) 第一の条項

* 創世記1:28a

生めよ。増えよ。地を満たせ。

(2) 第二の条項

* 創世記1:28b

地を支配せよ。

* 創世記1:2

やみが大いなる水の上にあり、

(3) 第三の条項

* 創1:28c

人には、あらゆる生き物を支配する権威が与えられました。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

(4) 第四の条項

* 創1:29～30; 2:1

人の食生活に関するものでした。

(5) 第五の条項

* 創世記2:15

エデンの園を守り、整えるようにとの指示。

(6) 第六の条項

* 創2:17a

人は、善悪の知識の木から食べることを禁じられました。

(7) 第七の条項

* 創2:17b

不従順に対する罰は死。

C. エデン契約のディスペンセーション

* エデン契約は、「無垢(むく)の時代」の土台となるもの。

* エデン契約が破られた経緯は、創世記3:1～8に記録されている。

* Iヨハネ2:16との対比

Iヨハネ2:16

創世記3:6

(1) 肉の欲

そこで女が見ると、その木はまことに食べるのに良く

(2) 目の欲

目に慕わしく

(3) 暮し向きの自慢話

賢くするというその木はいかにも好ましかった

* 創世記2:17で警告されていたことが、そのまま成就した。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

II. アダム契約

* 創世記3:14-19

神である主は蛇に仰せられた。「おまえが、こんな事をしたので、おまえは、あらゆる家畜、あらゆる野の獣よりもろわれる。おまえは、一生、腹ばいで歩き、ちりを食べなければならない。わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み碎き、おまえは、彼のかかとにかみつく。」女にはこう仰せられた。「わたしは、あなたのみごもりの苦しみを大いに増す。あなたは、苦しんで子を産まなければならぬ。しかも、あなたは夫を恋い慕うが、彼は、あなたを支配することになる。」また、アダムに仰せられた。「あなたが、妻の声に聞き従い、食べてはならないとわたしが命じておいた木から食べたので、土地は、あなたのゆえにのろわれてしまつた。あなたは、一生、苦しんで食を得なければならぬ。土地は、あなたのために、いばらとあざみを生えさせ、あなたは、野の草を食べなければならない。あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついに、あなたは土に帰る。あなたはそこから取られたのだから。あなたはちりだから、ちりに帰らなければならぬ。」

A. アダム契約に与る者

* 神は蛇に、腹ばいで動かねばならないと言わされた(14節)。

B. アダム契約の条項

1. サタンに対して

* サタンに与えられた四つの条項(15節)。

* ヘブル 2:14~15

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

2. エバに対して

* エバとすべての女性に与えられた三つの条項(16節)。

3. アダムに対して

* アダムとすべての男性に与えられた三つの条項(創世記3:17~19)。

C. アダム契約のディスペンセーション

* アダム契約は、「良心の時代」の土台となるもの。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

III. ノア契約

* 創世記9:1-17

それで、神はノアと、その息子たちを祝福して、彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地に満ちよ。野の獣、空の鳥、——地の上を動くすべてのもの——それに海の魚、これらすべてはあなたがたを恐れておののこう。わたしはこれらをあなたがたにゆだねている。生きて動いているものはみな、あなたがたの食物である。緑の草と同じように、すべてのものをあなたがたに与えた。しかし、肉は、そのいのちである血のあるままで食べてはならない。わたしはあなたがたのいのちのためには、あなたがたの血の価を要求する。わたしはどんな獣にでも、それを要求する。また人にも、兄弟である者にも、人のいのちを要求する。人の血を流す者は、人によって、血を流される。神は人を神のかたちにお造りになったから。あなたがたは生めよ。ふえよ。地に群がり、地にふえよ。」

神はノアと、彼といっしょにいる息子たちに告げて仰せられた。「さあ、わたしはわたしの契約を立てよう。あなたがたと、そしてあなたがたの後の子孫と。また、あなたがたといっしょにいるすべての生き物と。鳥、家畜、それにあなたがたといっしょにいるすべての野の獣、箱舟から出て来たすべてのもの、地のすべての生き物と。わたしはあなたがたと契約を立てる。すべて肉なるものは、もはや大洪水の水では断ち切られない。もはや大洪水が地を滅ぼすようなことはない。」さらに神は仰せられた。「わたしとあなたがた、およびあなたがたといっしょにいるすべての生き物との間に、わたしが代々永遠にわたくつて結ぶ契約のしるしは、これである。わたしは雲の中に、わたしの虹を立てる。それはわたしと地との間の契約のしるしとなる。わたしが地の上に雲を起こすとき、虹が雲の中に現われる。わたしは、わたしとあなたがたとの間、およびすべて肉なる生き物との間の、わたしの契約を思い出すから、大水は、すべ虹が雲の中にあるとき、わたしはそれを見て、神と、すべての生き物、地上のすべて肉なるものとの間の永遠の契約を思い出そう。」こうして神はノアに仰せられた。「これが、わたしと、地上のすべての肉なるものとの間に立てた契約のしるしである。」

A. ノア契約に与る者

B. ノア契約の条項

* 人の数は、非常に増えたが、地上に人の悪が増大した(創6:5)。

* 人への恐れの思いは動物に入れられ、人は動物を治めるはずであった(2節)。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

- * 人は野菜と動物の両方を食した(3節)。
- * しかし、血を食することは禁じられた(4節)。
- * 死刑が初めて人間社会の規約となつた(5、6節)。

C. ノア契約の約束

- * 人類が世界大の洪水によって滅ぼされることは二度とないという約束(8~11 節)。

D. 契約のしるし

- * ノア契約にあるこの約束のしるしは、虹であった(12~17 節)。

E. ノア契約のディスペンセーション

- * ノア契約は、「人間による統治の時代」の基礎となつた。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

IV. アブラハム契約

アブラハム契約に関する記述が6ヶ所ある。

(1) 創世記 12:1~3

12:1 その後、主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。

12:2 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。

12:3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。」

(2) 創世記 12:7

12:7 そのころ、主がアブラムに現われ、そして「あなたの子孫に、わたしはこの地を与える。」と仰せられた。アブラムは自分に現われてくださった主のために、そこに祭壇を築いた。

(3) 創世記 13:14~17

13:14 ロトがアブラムと別れて後、主はアブラムに仰せられた。「さあ、目を上げて、あなたがいる所から北と南、東と西を見渡しなさい。

13:15 わたしは、あなたが見渡しているこの地全部を、永久にあなたとあなたの子孫とに与えよう。

13:16 わたしは、あなたの子孫を地のちりのようにならせる。もし人が地のちりを数えることができれば、あなたの子孫をも数えることができよう。

13:17 立って、その地を縦と横に歩き回りなさい。わたしがあなたに、その地を与えるのだから。」

(4) 創世記 15:1~21

- * アブラハムは、一つの国の父となる。
- * アブラハムは、多くの国の父となる。
- * 神がアブラハム契約にサインし、封印された。与えられる土地の境界線は、南はエジプトの川から、北はの大川、ユーフラテス川まで。

(5) 創世記 17:1~21

- * 創世記 17 章の強調点は、契約のしるしについてである。
- * 男子は生まれて8日目に、割礼をほどこされる。
- * 虹がノア契約のしるしであったように、割礼がアブラハム契約のしるしとなった。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

(6) 創世記 22:15~18

22:15 それから主の使いは、再び天からアブラハムを呼んで、
22:16 仰せられた。「これは主の御告げである。わたしは自分にかけて誓う。あなたが、このことをなし、あなたの子、あなたのひとり子を惜しまなかつたから、
22:17 わたしは確かにあなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、海辺の砂のように数多く増し加えよう。そしてあなたの子孫は、その敵の門を勝ち取るであろう。
22:18 あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受けるようになる。あなたがわたしの声に聞き従つたからである。」

A. アブラハム契約に与る者

B. 契約のしるし

* 割礼は、契約のしるしとして与えられた(創 17:9~14)。

* 割礼は、ユダヤ人であることのしるし。

C. アブラハム契約の条項

- (1) 偉大な国家、すなわちイスラエルという国家が、アブラハムから出てくる(12:2、13:16、15:5、17:1~2、7、22:17b)。
- (2) 土地が約束された(12:1、7、13:14~15、17、15:17~21、17:8)。
- (3) アブラハム自身も祝福される(12:2b)。
- (4) ア布拉ハムの名前がおおいなるものとなる(12:2c)。
- (5) ア布拉ハムは、他の者たちにとっても祝福となる(12:2d)。

「聖書の八つの契約」 アーノルド・フルクテンバウム師

- (6) イスラエルを祝福する者は祝福される(12:3a)。
 - (7) イスラエルを呪う者は呪われる(12:3b)。
 - (8) アブラハムにあって、地上のすべての民族は祝福される(12:3c、22:18)。
 - (9) その妻サラを通して、ひとりの息子が与えられる(15:1~4、17:16~21)。
 - (10) 彼の子孫が、エジプトでの奴隸生活を経験する(15:13~14)。
 - (11) イスラエル以外の国民も、アブラハムから出てくる(17:3~4、6)。アラブ諸国もこのうちに含まれる。
 - (12) 彼の名が、アブラムからアブラハムに変えられることになる(17:5)。
 - (13) サライの名がサラに変えられることになる(17:15)。
- * ア布拉ハム契約の条項は、三つの領域に分類できる。
 - * ア布拉ハムに対するもの
 - * その子孫イスラエルに対するもの
 - * 異邦人に対するもの

1. アブラハムに対して

2. 子孫イスラエルに対して

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルケンバウム師

3. 異邦人に対して

D. アブラハム契約は他の契約を生み出す基礎

* 土地に関する側面：パレスチナ契約

* 子孫に関する側面：ダビデ契約

* 祝福に関する側面：新しい契約

E. アブラハム契約の追認

1. イサクに関して

創世記 26:2～5

「26:3 あなたはこの地に、滞在しなさい。わたしはあなたとともにいて、あなたを祝福しよう。それはわたしが、これらの国々をすべて、あなたとあなたの子孫に与えるからだ。こうしてわたしは、あなたの父アブラハムに誓った誓いを果たすのだ。」

26:4 そしてわたしは、あなたの子孫を空の星のように増し加え、あなたの子孫に、これらの国々をみな与えよう。こうして地のすべての国々は、あなたの子孫によって祝福される。

26:5 これはアブラハムがわたしの声に聞き従い、わたしの戒めと命令とおきてとおしえを守つたからである。」

この契約は後に創世記 26:24 でイサクに対して再び追認された。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

2. ヤコブに関して

イサクには二人の息子があった。そして神は、ヤコブを選ばれた。

創世記 28:13～15

28:13 そして、見よ。主が彼のかたわらに立っておられた。そして仰せられた。「わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。わたしはあなたが横たわっているこの地を、あなたとあなたの子孫とに与える。

28:14 あなたの子孫は地のちりのように多くなり、あなたは、西、東、北、南へと広がり、地上のすべての民族は、あなたとあなたの子孫によって祝福される。

28:15 見よ。わたしはあなたとともにあり、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ戻そう。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。」

3. ヤコブの息子たちに関して

* ヤコブの 12 人の息子たちを通して契約が追認された。

F. アブラハム契約のディスペンセーション

* アブラハム契約は、「恵みの時代」の土台となるもの。

* 無条件契約であるので、今も有効。

* 最終的な成就是、「御国の時代」にやってくる。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

V. モーセ契約

* 出エジプト記 20:1～申命記 28:68

A. モーセ契約に与る者

出エジプト記 19:3～8

19:3 モーセは神のみもとに上って行った。主は山から彼を呼んで仰せられた。「あなたは、このように、ヤコブの家に言い、イスラエルの人々に告げよ。

19:4 あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたをわしの翼に載せ、わたしのもとに連れて来たことを見た。

19:5 今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中にあって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。

19:6 あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエル人にあなたの語るべきことばである。」

19:7 モーセは行って、民の長老たちを呼び寄せ、主が命じられたこれらのことばをみな、彼らの前に述べた。

19:8 すると民はみな口をそろえて答えた。「私たちは主が仰せられたことを、みな行ないます。」それでモーセは民のことばを主に持つて帰った。

B. モーセ契約の中心的な条項

* モーセの律法は、613の命令からなっている。

* これらの規定には、従順に対する祝福、不従順に対するのろいが含まれている。

* モーセ契約はノア契約の規定のひとつに制限を加えた(食物規定)。

魚介類は、ひれとうろこの両方あるもの

動物は、反芻して噉むものでかつひづめが割れているもの

* 割礼の意味の広がり

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

C. 契約の中心的要素

レビ記 17:11

17:11 なぜなら、肉のいのちは血の中にあるからである。わたしはあなたがたのいのちを祭壇の上で贖うために、これをあなたがたに与えた。いのちとして贖いをするのは血である。

- * ヘブル語で「贖い」とは、罪を取り除くことではなく、罪を覆うことを意味している。

D. モーセ契約のディスペンセーション

- * モーセ契約は、「律法の時代」の土台となった。
- * モーセ契約は、ユダヤ人と結ばれた唯一の条件付き契約
- * モーセ契約は、メシヤの死によって終了した。
(ローマ 10:4、IIコリント3:3~11、ガラテヤ3:19~29、エペソ2:11~18、
ヘブル7:11~12、18)。
- * モーセ契約は、もはや効力のないものである。
- * 預言的には、メシヤが死なれてユダヤ人を律法の罰則から解放される前にすでに
破棄されたと考えられていた(エレミヤ 31:32)。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

VII. パレスチナ契約

* 申命記 29:1～30:10

申命記 29:1

29:1 これは、モアブの地で、主がモーセに命じて、イスラエル人と結ばせた契約のことばである。ホレブで彼らと結ばれた契約とは別である。

A. 契約に与る者

B. パレスチナ契約の条項

申命記 30:1～10 パレスチナ契約の中心条項。

申命記 30:5～10 節

30:5 あなたの神、主は、あなたの先祖たちが所有していた地にあなたを連れて行き、あなたはそれを所有する。主は、あなたを栄えさせ、あなたの先祖たちよりもその数を多くされる。

30:6 あなたの神、主は、あなたの心と、あなたの子孫の心を包む皮を切り捨てて、あなたが心を尽くし、精神を尽くし、あなたの神、主を愛し、それであなたが生きるようにされる。

30:7 あなたの神、主は、あなたを迫害したあなたの敵や、あなたの仇に、これらすべてののろいを下される。

30:8 あなたは、再び、主の御声に聞き従い、私が、きょう、あなたに命じる主のすべての命令を行なうようになる。

30:9 あなたの神、主は、あなたのすべての手のわざや、あなたの身から生まれる者や、家畜の産むもの、地の産物を豊かに与えて、あなたを栄えさせよう。まことに、主は、あなたの先祖たちを喜ばれたように、再び、あなたを栄えさせて喜ばれる。

30:10 これは、あなたが、あなたの神、主の御声に聞き従い、このみおしえの書にしるされている主の命令とおきてとを守り、心を尽くし、精神を尽くして、あなたの神、主に立ち返るからである。

(1) モーセは預言的に、イスラエルがモーセの律法に従わなくなり、その結果世界中に散らされると語った(申 29:2～30:1)。

(2) イスラエルは悔い改める(30:2)。

(3) メシヤが戻ってこられる(30:3)。

(4) イスラエルは再び集められる(30:3～4)。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルケンバウム師

- (5) イスラエルは約束の地を所有する(30:5)。
- (6) イスラエルは、靈的に再生される(30:6)。
- (7) イスラエルは完全な祝福、「メシヤ時代」の祝福を受ける(8~10節)。
 - * パレスチナ契約によって、土地の権利証書がイスラエルに属するものだということが再認識された。
 - * イスラエルが不忠実であっても、土地の権利は決して取り去られることはない。
 - * 条件付のモーセ契約が、無条件のアブラハム契約に取って代わったのではない。
 - * パレスチナ契約は、アブラハム契約の拡大である。土地に関する側面の拡大。
 - * 不信仰にもかかわらず、神の民には土地の約束が与えられている。

C. パレスチナ契約の追認

- * エゼキエル 16:1~63
- * 幼少のイスラエルへの神の愛(1~7節)
- * 後になってイスラエルは、エホバの妻として知られることになった(8~14節)。
- * しかしイスラエルは、娼婦のようにふるまつた(15~34節)。
- * 離散によってイスラエルを懲らしめる必要があった(35~52節)。
- * この離散は最終的なものではない。パレスチナ契約によれば、将来の回復がある(55~63節)。

VII. ダビデ契約

* 聖書の2箇所にある。ほとんど同じようだが、核心のところで違いがある。

II サムエル7:11b～17(ソロモンに強調点あり)

さらに主はあなたに告げる。『主はあなたのために一つの家を造る。』

7:12 あなたの日数が満ち、あなたがあなたの先祖たちとともに眠るとき、わたしは、あなたの身から出る世継ぎの子を、あなたのあとに起こし、彼の王国を確立させる。

7:13 彼はわたしの名のために一つの家を建て、わたしはその王国の王座をとこしえまでも堅く立てる。

7:14 わたしは彼にとって父となり、彼はわたしにとって子となる。もし彼が罪を犯すときは、わたしは人の杖、人の子のむちをもって彼を懲らしめる。

7:15 しかし、わたしは、あなたの前からサウルを取り除いて、わたしの恵みをサウルから取り去ったが、わたしの恵みをそのように、彼から取り去ることはない。

7:16 あなたの家とあなたの王国とは、わたしの前にとこしえまでも続き、あなたの王座はとこしえまでも堅く立つ。』

7:17 ナタンはこれらすべてのことばと、これらすべての幻とを、そのままダビデに告げた。

I 歴代誌 17:10b～15(メシヤに強調点あり)

わたしはあなたに告げる。『主があなたのために一つの家を建てる。』

17:11 あなたの日数が満ち、あなたがあなたの先祖たちのもとに行くようになるなら、わたしは、あなたの息子の中から、あなたの世継ぎの子を、あなたのあとに起こし、彼の王国を確立させる。

17:12 彼はわたしのために一つの家を建て、わたしはその王座をとこしえまでも堅く立てる。

17:13 わたしは彼にとって父となり、彼はわたしにとって子となる。わたしはわたしの恵みをあなたの先にいた者から取り去ったが、わたしの恵みをそのように、彼から取り去ることはない。

17:14 わたしは、彼をわたしの家とわたしの王国の中に、とこしえまでも立たせる。彼の王座は、とこしえまでも堅く立つ。』

17:15 ナタンはこれらすべてのことばと、これらすべての幻とを、そのままダビデに告げた。

A. ダビデ契約に預かる者

B. ダビデ契約の条項

* ダビデに、永遠の王朝が約束されている(II サムエル7:11b、16、I 歴代 17:10b)。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

- * 何ものもダビデの家を滅ぼすことは出来ない。今も、世界の何処かにダビデ家の子孫が存続している。
- * ダビデの息子の一人ソロモンがダビデの後に王座を確立する(Ⅱサムエル7:12)。アブシャロム、アドニヤは王位を強奪しようとしたが、ソロモンだけが王座についた。
- * ソロモンは神殿を建てるようになる(Ⅱサムエル7:13a)。ダビデは神殿を建てることを切に願ったが、許されなかった。
- * ダビデ王国の王座は、永遠に確立される(Ⅱサムエル7:13b、16)。永遠に確立されることが約束されたのは、ソロモンでなく、彼が座す王座であった。
- * ソロモンは不従順の故に罰を受けたが、神はご自身の慈愛を取り去ることはなさらなかった(Ⅱサムエル7:14~15)。サウル王の場合とは、異なる。
- * メシヤとその王座、家系、王国はとこしえに確立される(I歴代誌17:11~15)。
- * Ⅱサムエルの強調点はソロモンであるが、I歴代誌の強調点はメシヤである。I歴代誌では、とこしえに王座を建てるのはダビデの息子のひとりではなく、後になって現われるダビデの子孫である。とこしえに確立されるのは、王座だけでなく、その方ご自身(メシヤ)もそうである。
- * I歴代誌には、サムエル記Ⅱにあるような罪を犯す可能性についての記述がない。メシヤの場合、罪の可能性は全くないからである。
- * ダビデ契約は、アブラハム契約の中の子孫に関する側面が拡大されたもの。メシヤはアブラハムの子孫から出る。12部族のいずれかから出る。ユダ部族から出る(創世記49:10)。ダビデの家系から出る。

C. ダビデ契約の追認

- * Ⅱサムエル 23:1~5、詩篇 89:1~52、イザヤ9:6~7、エレミヤ 23:5~6、30:8 ~9、33:14~17、19~26、エゼキエル 37:24~25、ホセア3:4~5、そしてアモス9:11。
- * ダビデ契約は無条件契約であり、永遠の契約として今なお、有効である。

VII. 新しい契約

エレミヤ 31:31～34

31:31 見よ。その日が来る。——主の御告げ。——その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。

31:32 その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。——主の御告げ。——

31:33 彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。——主の御告げ。——わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

31:34 そのようにして、人々はもはや、『主を知れ。』と言って、おのれの互いに教えない。それは、彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。——主の御告げ。——わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。」

A. 新しい契約に与る者

* イザヤ 55:3、59:21、61:8～9、エレミヤ 32:40、エゼキエル 16:60、34:25～31、37:26～28、さらにローマ11:26～27

B. 新しい契約の条項

- (1) イスラエルの二つの家を包括する無条件契約である(エレミヤ 31:31)。
- (2) モーセ契約と明確に異なるものである(エレミヤ 31:32)。
- (3) イスラエルの靈的再生を約束している(エレミヤ 31:33、イザヤ 59:21)。この契約全体の鍵となる側面は、救いの祝福であり、イスラエルの国家的救いを含む。
- (4) イスラエルの靈的再生は、すべてのユダヤ人を含む(エレミヤ 31:34a、イザヤ 61:9)。つまり、イスラエルの国家的な救いは、すべてのユダヤ人の救いにつながるということである。「御国の時代」においては、救われていないユダヤ人はいなくなる。

「聖書の八つの契約」 アーノルド・フルクテンバウム師

- (5) 罪の許しが約束されている(エレミヤ 31:34b)。新しい契約は、モーセ契約が出来なかつたこのことを実現する。モーセ契約はイスラエルの罪を覆うだけであったが、新しい契約はその罪を取り去る。
- (6) 聖霊の内住が約束されている(エレミヤ 31:33、エゼキエル 36:27)。モーセの律法は、聖霊の内住を約束していなかった。
- (7) イスラエルに物質的な祝福が惜しみなく与えられる(エレミヤ 32:41、エゼキエル 34:25 ~27)。
- (8) 聖所が再建される(エゼキエル 37:26~28)。ダビデ契約に基づいて、ソロモンの神殿の建設が行なわれた。新しい契約に基づいて、メシヤ的王国(千年王国)の神殿の建設が行なわれる。この神殿は、イスラエルが神の御業を思い出すためのものである。

* 新しい契約は、アブラハム契約の祝福に関する側面、特に救いに関わる祝福の側面を拡大した。

C. 教会と新しい契約との関係

- * 混乱が生じている。
- * エレミヤによれば、新しい契約は教会とでなくイスラエルとなされた。
- * しかし、聖書の多くの個所では、新しい契約は教会と関係づけている(マタイ 26:28、マルコ 14:24、ルカ 22:14~20、I コリント 11:25、II コリント 3:6、ヘブル 7:22、8:6 ~13、9:15、10:16、29、12:24、13:20)。
- * ある学者は、二つの新しい契約があると教える。ひとつは教会と交わされ、もうひとつはイスラエルと交わされたと。
- * 別の学者は、一つの契約であるが二つの側面があると教える。一つの側面はイスラエルと関係し、他の側面は教会と関係するという。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

エペソ2:11～16が、その解決策。

2:11 ですから、思い出してください。あなたがたは、以前は肉において異邦人でした。すなわち、肉において人の手による、いわゆる割礼を持つ人々からは、無割礼の人々と呼ばれる者であつて、

2:12 そのころのあなたがたは、キリストから離れ、イスラエルの国から除外され、約束の契約については他国人であり、この世にあって望みもなく、神もない人たちでした。

2:13 しかし、以前は遠く離れていたあなたがたも、今ではキリスト・イエスの中にあることにより、キリストの血によって近い者とされたのです。

2:14 キリストこそ私たちの平和であり、二つのものを一つにし、隔ての壁を打ちこわし、

2:15 ご自分の肉において、敵意を廃棄された方です。敵意とは、さまざまの規定から成り立っている戒めの律法なのです。このことは、二つのものをご自身において新しいひとりの人に造り上げて、平和を実現するためであり、

2:16 また、両者を一つのからだとして、十字架によって神と和解させるためなのです。敵意は十字架によって葬り去られました。

エペソ3:5～6

3:5 この奥義は、今は、御靈によって、キリストの聖なる使徒たちと預言者たちに啓示されていますが、前の時代には、今と同じようには人々に知らされていませんでした。

3:6 その奥義とは、福音により、キリスト・イエスにあって、異邦人もまた共同の相続者となり、ともに一つのからだに連なり、ともに約束にあずかる者となるということです。

- * これらの聖書の個所が教えているのは、神がアブラハム契約、パレスチナ契約、ダビデ契約、新しい契約という四つの契約を無条件で交わされたということである。神の靈的祝福のすべては、これら四つの契約を通して流れてくる。
- * しかしながら、五つ目の契約で、条件付きのモーセ契約がある。これが隔ての中垣だったのである。異邦人が無条件契約の祝福を受けるためには、アブラハムの息子として生活する必要があった。異邦人は、イスラエル共同体から見ると、見知らぬ他人国であった。
- * メシヤが亡くなった時、隔ての中垣(モーセの律法)が破棄された。今や、異邦人が信仰によって、四つの無条件契約の靈的祝福を受け取ることが出来るようになった。つまり、異邦人がユダヤ人の靈的祝福を共に受ける者となつたのである。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師

D. 契約の恩恵に与る者

- * 新しい契約は、教会にどのような恩恵を与えるのか。
- * アブラハム契約にある土地と子孫に関する約束は、異邦人には与えられていない。
- * 物理的約束は今なおイスラエルに属している。特に土地がそうである。しかし、あらゆる靈的恵みが今や教会に約束されており、この点ではイスラエルと同じである。

E. 新しい契約のディスペンセーション

- * 教会にとっては、新しい契約は「恵みの時代」の土台である。
- * イスラエルにとっては、新しい契約は「御国の時代」の土台である。
- * 新しい契約は無条件契約であり、永遠に有効である。

結論

- * ユダヤ人であろうが異邦人であろうが、あらゆる靈的祝福はメシヤを通して与えられる。
- * メシヤの十字架上の死によって、他の方法では決して私たちのものとなりえなかつた靈的祝福が、私たちのものとなつた。
- * 聖書の八つの契約は、各々の契約に独自な条項を持っている。これらの契約を学ぶことは、聖書を正しく理解するための大きな助けとなる。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師
追加テキスト

5ページ アダム契約の条項への追加

B. アダム契約の条項

1. 蛇に対して

(1) すべての動物よりも呪いが大きい

- * 動物界は呪われたが、蛇には特に厳しい裁きが下さった。
 - * 動物はその行動の責任を問われない。しかし、人に害を与える場合は、裁きにあう。
(創世記 9:5)
 - * 動物は、人間のために創造された。その原則を破った場合は、神の裁きにあう。
 - * 腹ばいで動くようになった。それ以前は、立って移動していたと解釈される。
- (3) 「ちりを食べる」とは、他のどのような動物よりも呪われていることを示す、比喩的ことばである。文字通りに取るべきではない。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師
追加テキスト

13 ページへの追加

F. アブラハム契約のディスペンセーション

* アブラハム契約は、「約束の時代」の土台となるもの。

* 無条件契約であるので、今も有効。

* 最終的な成就是、「御国の時代」にやってくる。

(以下の聖句を参照)

| | |
|---|--|
| 出エジプト 2:23-25: | エジプトからの解放の基礎 |
| 出エジプト 4:24-26: | モーセが殺されそうになった理由 |
| 出エジプト 6:2-8: | 出エジプトが起った理由 |
| 出エジプト 32:11-14: | モーセの執りなしの祈りの理由 |
| 申命記 34:4: | 土地を与えることの根拠 |
| II 列王 13:22-23: | 不従順なイスラエルが滅びなかった理由 |
| I 歴代 16:15-19: | 土地を与えることの根拠 |
| II 歴代 20:7-8: | 土地を与えることの根拠 |
| ネヘミヤ記 9:7-8: | 出エジプトの理由(9-11 節) 荒野の放浪の理由(12-22 節)、 約束の地への入国の理由(23-25 節) |
| 詩篇 105:7-12: | 上と同じ |
| ルカ 1:54-55: | メシヤ到来の理由 |
| ルカ 1:68-73: | メシヤによるイスラエルの贖いの理由 |
| ガラテヤ 3:15-18: | モーセ契約の有限性と、アブラハム契約の永遠性 |
| ヘブル 6:13-20 : | 救いの保証、根拠 |
| マタイ 22:23-33 (マルコ 12:18-27; ルカ 20:27-40): | 旧約聖書の聖徒が復活する根拠 多くの異邦人が御国で食卓に着く (マタイ 8:11-12、ルカ 13:29-30) |
| 使徒 26:6-8: | 復活の根拠 |
| レビ 26:40-42: | 最終的な回復の根拠 |

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師
追加テキスト

14 ページへの追加

B. モーセ契約の中心的な条項

* 安息日(追加項目)

(1) 契約のしるしとして

| | |
|----------------|-----------------------|
| 出エジプト 31:12-17 | イスラエルは聖なる民として分離された |
| 申命記 5:12-15 | 出エジプトのしるし |
| エゼキエル 20:12 | 出エジプトのしるし(10-11 節) |
| エゼキエル 20:20 | ヤハウェがイスラエルの神であることのしるし |

(2) 安息日の規定は、創造の際にではなく、モーセの律法とともに始まった。

| | |
|----------------|------------|
| 出エジプト 16:23-30 | 安息日の規定 |
| 出エジプト 20:8-11 | 十戒の中に入れられる |

(3) 安息日は、休息の日であって、共同体として礼拝する日ではない。

(4) 安息日は、イスラエルにのみ向けられたもので、教会に与えられたのではない。

(5) この規定は、モーセ契約が有効に機能している時代にのみに有効。

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師
追加テキスト

15 ページへの追加

C. 契約の中心的要素の中に以下のものを追加

律法の目的：救いの方法として与えられたのではない。

(1) 神との関係：神の義と聖さの基準を示す

レビ記 19:1-2, 37

ペテロの手紙 I 1:15-16

律法は、良いものである。ロマ 7:12

(2) イスラエルとの関係

* イスラエルを分離させるため

聖句 レビ記 11:44-45

申命記 7:6

申命記 14:1-2

具体的な命令

食物規定：健康のためではなく他の民族と区別するため

衣服： 混紡の禁止

着物の房

ひげ： 剃ってはいけない

ひげの回りを丸くしてはいけない

* 旧約聖書の聖徒の生活の指針となるため

救いの方法ではない

ロマ 3:20

ガラテヤ 2:16

ガラテヤ 3:11, 21

生活の指針として

レビ記 11:44-45

レビ記 19:2

レビ記 20:7-8, 26

ロマ 3:28

* イスラエルに共同体としての礼拝の機会を与えるため

レビ記 23 章

「聖書の八つの契約」アーノルド・フルクテンバウム師
追加テキスト

(3) 異邦人との関係

- * ユダヤ人の諸契約から異邦人を隔離するための「隔ての壁」となった。
エペソ 2:11-16

(4) 罪との関係：ロマ 7:7-8:4

- * 罪を示すため
 - ロマ 3:19-20
 - ロマ 7:7
 - ガラテヤ 3:19
- * さらに罪を犯させるため
 - ロマ 4:15
 - ロマ 5:20
 - ロマ 7:8-11
 - I コリント 15:56
- * 自力救済は不可能であることを示すため
 - ロマ 7:12-25
- * 人を信仰に導くため
 - ロマ 8:1-4
 - ガラテヤ 3:24-25

フルクテンbaum・セミナーDVD／CD

2011年『聖書が教える救いとは』 DVD 8枚組／CD 8枚組

「救いの10の側面」「33の事項：位置的真理に関する学び」

2010年『天使論、サタン論、悪霊論』 DVD 8枚組／CD 8枚組

2009年『終末論とイスラエル』 DVD 8枚組／CD 8枚組

「ロマ書9章～11章の研究」「ロマ書とユダヤ人」

2008年『神の人類救済プログラム』 CD 8枚組

- 1.ディスペンセーションとは何か
- 2.ディスペンセーションの種類
- 3.契約神学（置換神学の主流）
- 4.解釈学
- 5.救済論
- 6.教会論
- 7.終末論

2007年『三位一体』 CD 4枚組

- イントロダクション
- 1.神の位格の複数性
- 2.神の位格の單一性
- 3.三位一体の神
- 4.結論

2007年『旧約聖書におけるメシア預言』 CD 4枚組

- イントロダクション
- 1.律法
- 2.預言書

2006年『イスラエル学』 CD 8枚組

- 1.過去のイスラエル
- 2.現在のイスラエル
- 3.将来のイスラエル
- 4.その他の関連事項

2005年『ユダヤ的視点から見たメシアの生涯』 CD 12枚組

- 1.その誕生と成長過程
- 2.イエスの教えとパリサイ人と葛藤
- 3.メシアの裁判
- 4.メシアの死
- 5.復活と昇天

2003年『ヨハネの黙示録』 CD 6枚組

- 1.ヨハネが見たこと
- 2.今ある事
- 3.この後に起こること
- 結論

2002年『聖書の八つの契約』 CD 9枚組

- はじめに
- 1.エデン契約
- 2.アダム契約
- 3.ノア契約
- 4.アブラハム契約
- 5.モーセ契約
- 6.パレスチナ契約
- 7.ダビデ契約
- 8.新しい契約
- 結論

2001年『イスラエルの祭りに隠されたイエス・キリスト』 CD 10枚組

- 1.過越の祭り
- 2.種を入れないパンの祭り
- 3.初穂の祭り
- 4.七週の祭り(ペンテコステ)
- 5.春の祭りと秋の祭りの間の4か月
- 6.ラッパの祭り
- 7.贖罪の日
- 8.仮庵の祭り